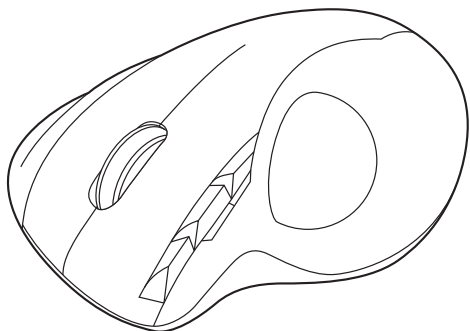
ワイヤレスレーザートラックボール 取扱説明書

400-MA061シリーズ

400-MA061　マウス本体
R R203-JN6097

400-MA061　レシーバー
R 006-000242

最初にご確認ください

セット内容
- ●ワイヤレスレーザートラックボール本体 …… 1台
- ●小型レシーバー …………………………… 1台
- ●単三乾電池(テスト用) …………………… 1本
- ●取扱説明書(保証書) ……………………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

サンワサプライ株式会社

目　次

1.はじめに

この度は、ワイヤレスレーザートラックボール(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2.安全にご使用していただくために

本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2-2001、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。
本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。
- ●レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けないでください。
- ●製品を分解したり、改造したりしないでください。
- ●0℃～40℃の気温環境でお使いください。
- ●本製品に衝撃を加えないようにしてください。
- ●保証規定をよく読み正しくお使いください。

3.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

4.警告

■テレビ・ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のパソコンシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。
- ●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- ●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを設定し直してください。
- ●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにパソコンを接続してください。
- ●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意
本製品に対し許可のない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

5.接続手順

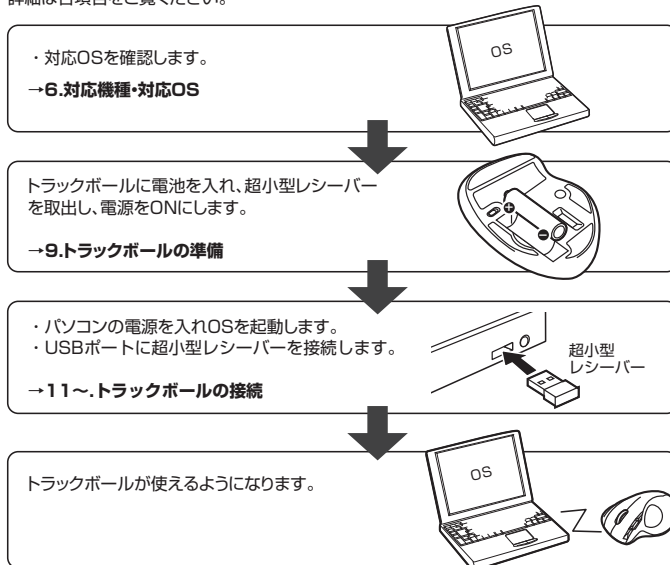
詳細は各項目をご覧ください。

・対応OSを確認します。
→6.対応機種・対応OS

トラックボールに電池を入れ、超小型レシーバーを取出し、電源をONにします。
→9.トラックボールの準備

・パソコンの電源を入れOSを起動します。
・USBポートに超小型レシーバーを接続します。
→11～.トラックボールの接続

超小型レシーバー

トラックボールが使えるようになります。

6.対応機種・対応OS

■対応機種
- ●Windows搭載(DOS/V)パソコン
- ●Apple Macシリーズ

※Apple Macシリーズでは、戻る・進むボタンは使用できません。
※USBポート(Aコネクタ)を持つ機種。

■対応OS
Windows 8.1･8･7･Vista･XP･2000
Mac OS X(10.2以降)
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、Text Edit及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章に表記されているその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標です。

7.特長

●ボールの動きに合わせてカーソル速度が変わる!カウント自動調整機能!
カウント数は400/800/1200/1600の4種類に切替えられ、好みのカーソル速度でボール操作を行なえます。
カウント数を800/1200/1600の数値に設定した場合、ボールを動かす速度を遅くすれば、ボールの動きに合わせてカウント数を自動で調節、カーソル速度が遅くなり細かいマウス操作が可能になります。パソコン側でカーソル速度を設定しなくても思い通りの動きにが可能になります。

●レーザーセンサー
より正確なボールコントロールを可能にする、レーザーセンサーを採用しました。

●2.4GHzデジタルワイヤレス
机上に限らず膝の上やソファの肘置きなど様々な場所で使うことができるワイヤレス式です。電波障害に強い2.4GHzデジタル帯で、通信範囲が半径10m※の広範囲で安定したデータ通信が可能です。※電波干渉がない場合

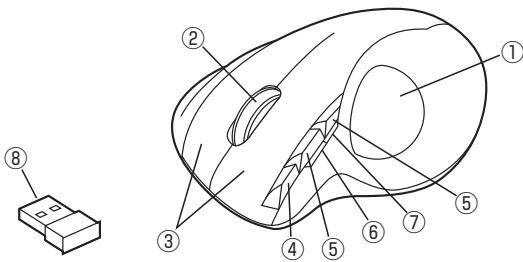
●戻る・進むボタン
WEB閲覧に便利な戻る・進むボタン付きです。

●34mm中型ボール
親指で動かしやすい丁度いい34mm中型サイズのボールを採用しています。

●エルゴノミクス形状
5本の指を伸ばした状態で軽く添えるだけで使えるので、リラックスした状態でトラックボール操作ができます。

●長い電池寿命
単三乾電池1本で約8ヶ月間使うことができます。

●ON・OFFスイッチ
本体裏面に電源ON・OFFスイッチが付いていますので、未使用時の電池消耗を抑えれます。

8.各部の名称とはたらき(Macでは一部の機能がご使用いただけません)

①ボール　………………………… マウスカーソルを移動させます。

②ホイール (スクロール) ボタン … インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

■スクロールモード
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしボールを前後左右に少し動かすと、自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
■ズーム
ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

③左ボタン・右ボタン … 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行ったり、ポップアップメニューの表示をすることもできます。

④カウント切替えボタン… カウント切替えボタンを押すと、カーソルスピード(分解能)を400→800→1200→1600→400カウントに切替えることができます。

⑤戻るボタン・進むボタン… Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。(Windowsのみ)

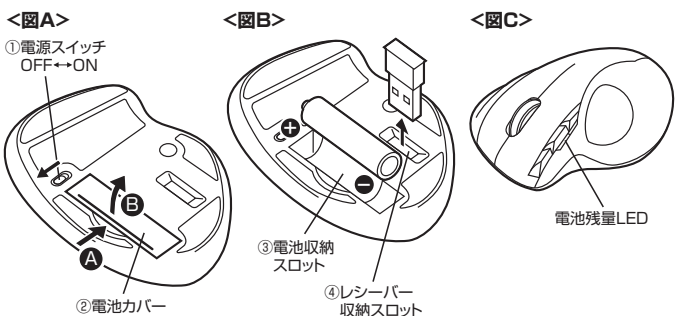
⑥電池残量LED ……… 電源をONにすると約6秒間点灯します。電池残量が少なくなると、電源をONにしたり、スリープモードから復帰後、約6秒間点滅します。

⑦カウント切替えLED … カウント切替えボタンを押した際に、点滅する回数でカウント数を知らせます。
1回点滅…400　2回点滅…800　3回点滅…1200　4回点滅…1600

⑧超小型レシーバー…… 超小型レシーバーなので、装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

9.トラックボールの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)

1.トラックボール裏面の電源スイッチ①をOFFにします。(図A参照)
2.トラックボール裏面の電池カバー②を Ⓐ Ⓑ の手順で開きます。(図A参照)
3.付属の乾電池またはお持ちの単三アルカリ乾電池を電池収納スロット③に入れます。黒いシートを下に敷くようにし、正しい極性で入れてください。(図B参照)
4.電池カバー②を閉じます。
5.トラックボール裏面の電源スイッチ①を「ON」の方向にスライドすると、電源がONになります。
※トラックボールの電源スイッチをONにすると、LEDが点灯します。
6.超小型レシーバーは、レシーバー収納スロット④から引きぬいて取出すことができます。
パソコンから超小型レシーバーを取外した場合は、逆の手順でレシーバーを収納してください。(図B参照)
7.電源をOFFにする場合は、電源スイッチを「OFF」にするか電池を取外してください。
※本製品は、電波状況に応じて自動的に周波数を変更するオートリンク方式で、ID設定など、面倒な設定をする必要はありません。
本製品は、ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、無線混信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際、自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなることがありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。
※トラックボールを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり、電池残量LEDが点滅した場合は電池を交換してください。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなっています。)(図C参照)
※電池交換の際はトラックボールの電源をOFFにした状態で行ってください。
※長期間空になった電池をトラックボール本体内に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。

<図A>　<図B>　<図C>

10.本製品をUSBポートに接続する際の注意(Windows用)

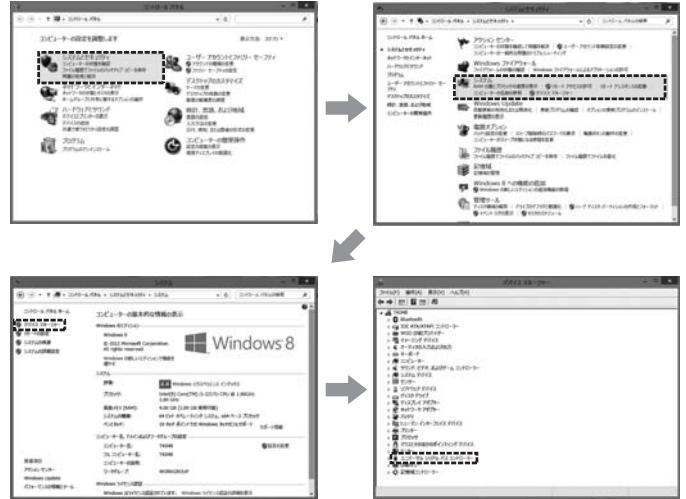
本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

《Windows 8.1・8の場合》

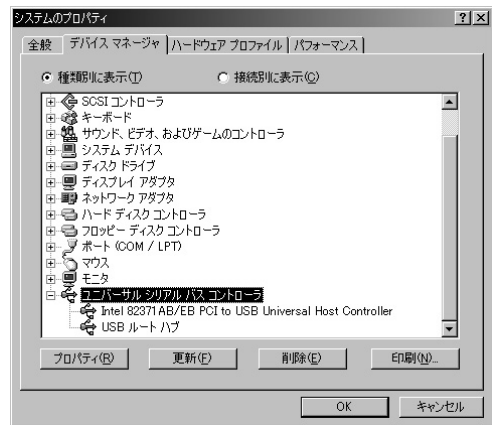
タッチパネル操作の場合

「スタート画面(modern UI)」を開く→「メニューバー」(画面底辺の外から、指一本で画面内に向けてゆっくり指をスライドさせる)→「全てのアプリ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ

マウス(タッチパッド)操作の場合

「スタート画面(modern UI)」を開く→「スタート」メニュー内の何もないところで右クリック→下に表示される「メニューバー」内の「全てのアプリ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ

これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

《Windows 7・Vista・XP・2000の場合》

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。
下の画面が表示されます。

これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はパソコン起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

(裏面へ続く)

Windows 8.1･8･7パソコン使用時に、トラックボールを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

インターネットに接続されたWindows 8.1･8･7のパソコンで、トラックボールを接続してもしばらく認識しない場合があります。
このような場合、初期USB機器接続時のドライバのインストール中、Windowsが最新ドライバを自動的に検索する機能が働いている場合があります。

■最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ

最初に接続すると、タスクバー右下に下記のようなメッセージが出ます。
（このウィンドウは、設定関係なく表示されます）

ウィンドウをクリックすると、ドライバのインストール状況が確認できます。
ここで、「Windows Updateを検索しています…」と表示され、しばらく検索が続きます。

■解決方法

【1】使用されているパソコンのインターネット接続を無効にする。

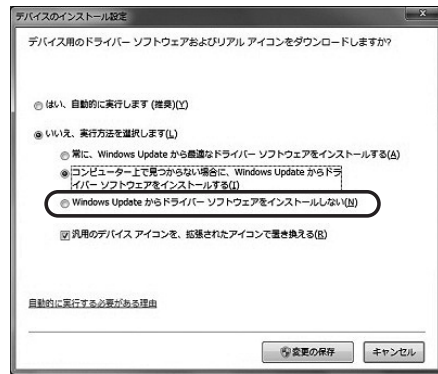
ケーブルを抜くなどでネットワークから切り離してください。

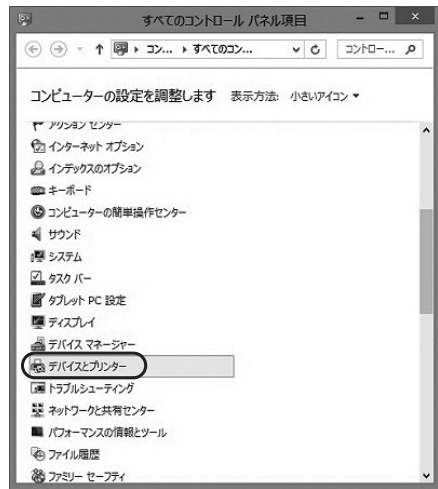
【2】Windowsのドライバインストール設定を変更する。

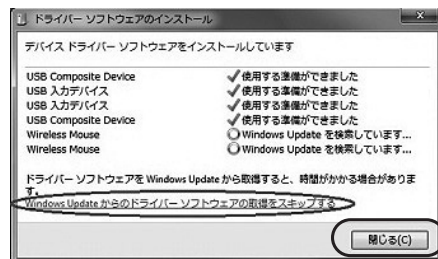
<Windows 7の場合>
(変更後は元に戻されることをお薦めします)
①「スタートメニュー」を開き、「デバイスとプリンター」を開きます。

②使用しているパソコンのアイコンが出ますので、右クリックします。

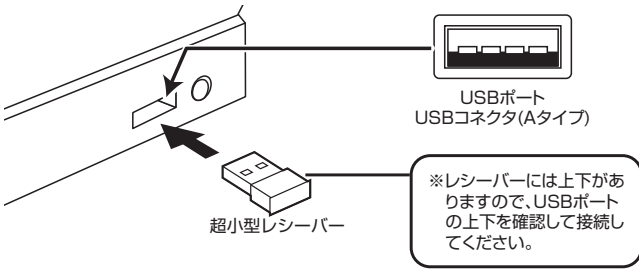
③表示されるメニュー内の「デバイスのインストール設定」をクリックします。

④「いいえ」を選択し、「コンピューター上で…」か「Windows Updateから…」を選択し、「変更の保存」をクリックして完了です。その後、USB機器の接続を行ってください。

<Windows 8.1･8の場合>
①「アプリ一覧」を開き、「コントロールパネル」を開きます。

②「デバイスとプリンター」を開きます。これ以降は、<Windows 7>の方法と同じです。

【3】Windows Updateの検索をスキップする。

ドライバインストール時の状態表示ウィンドウ内で、(「最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ」を参照)「Windows Updateからのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」をクリックします。
すると、自動的に検索がストップしますが、完了するまでに時間がかかります。
場合によっては、解決できないことがあります。

11.トラックボールの接続(Windows用)

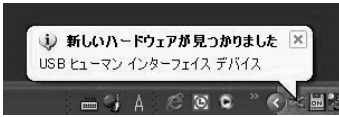
■超小型レシーバーを接続

※注意:トラックボール用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。
①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
②本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows 8.1・8の場合〉
ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

〈Windows 7の場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XP・2000の場合〉
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

12.トラックボールの接続(Mac OS X用)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

①パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
②本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
④これでトラックボールをご使用いただけます。
※Mac OS X 10.7(Lion)以後の場合

13.「故障かな…」と思ったら

Q.トラックボール(マウスカーソル)が動かない。
A. 超小型レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。("11.トラックボールの接続(Windows用)"、"12.トラックボールの接続(Mac OS X用)"参照)

Q.トラックボールをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。
A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくトラックボール操作を行わないとスリープモードに入ります。ボールを動かすか、ボタンをクリックすると復帰しますが、ほんの少し時間がかかる場合があります。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。
A. 1.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、本製品は無線混信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際、自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなることがありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状で不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを挿し直してください。
2.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。
3.トラックボールの動きがスムーズでない場合、ボール部分のクリーニングをしてみてください。トラックボール裏面の穴からペンなどでボールを押して取外し、綿棒等を使って内部ローラーのゴミを取り除いてください。(クリーニングの際、水気のある物を使用してクリーニングしないでください)

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。
A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックを外してください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトゥルーカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。
A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
2.トゥルーハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

14.保証規定

1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
①保証書をご提示いただけない場合。
②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381

BE/BA/TTDaU